

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年8月9日 (2012.8.9)

【公表番号】特表2011-528354(P2011-528354A)

【公表日】平成23年11月17日 (2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2011-518807(P2011-518807)

【国際特許分類】

C 0 7 D 401/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/4709 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 401/04 C S P

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月25日 (2012.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

( 3 S , 5 R ) - 7 - [ 3 - アミノ - 5 - メチル - ピペリジニル ] - 1 - シクロプロピル - 1 , 4 - ジヒドロ - 8 - メトキシ - 4 - オキソ - 3 - キノリンカルボン酸のリンゴ酸塩。

【請求項 2】

前記リンゴ酸および前記 ( 3 S , 5 R ) - 7 - [ 3 - アミノ - 5 - メチル - ピペリジニル ] - 1 - シクロプロピル - 1 , 4 - ジヒドロ - 8 - メトキシ - 4 - オキソ - 3 - キノリンカルボン酸の比が 1 : 1 である、請求項 1 に記載の塩。

【請求項 3】

前記塩が水和物の形態である、請求項 1 または 2 に記載の塩。

【請求項 4】

前記塩が、( 3 S , 5 R ) - 7 - [ 3 - アミノ - 5 - メチル - ピペリジニル ] - 1 - シクロプロピル - 1 , 4 - ジヒドロ - 8 - メトキシ - 4 - オキソ - 3 - キノリンカルボン酸のリンゴ酸塩 0 . 5 水和物である、請求項 3 に記載の塩。

【請求項 5】

前記リンゴ酸が、D - リンゴ酸である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の塩。

【請求項 6】

前記リンゴ酸が、L - リンゴ酸である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の塩。

【請求項 7】

前記リンゴ酸が、D , L - リンゴ酸である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の塩。

【請求項 8】

( 3 S , 5 R ) - 7 - [ 3 - アミノ - 5 - メチル - ピペリジニル ] - 1 - シクロプロピル - 1 , 4 - ジヒドロ - 8 - メトキシ - 4 - オキソ - 3 - キノリンカルボン酸のリンゴ酸塩および製薬上許容されるキャリアを含む薬剤組成物。

【請求項 9】

(3S, 5S) - 7 - [3 - アミノ - 5 - メチル - ピペリジニル] - 1 - シクロプロピル - 1, 4 - ジヒドロ - 8 - メトキシ - 4 - オキソ - 3 - キノリンカルボン酸のリンゴ酸塩をさらに含む請求項8に記載の薬剤組成物。

【請求項10】

前記(3S, 5R) - 7 - [3 - アミノ - 5 - メチル - ピペリジニル] - 1 - シクロプロピル - 1, 4 - ジヒドロ - 8 - メトキシ - 4 - オキソ - 3 - キノリンカルボン酸のリンゴ酸塩および前記(3S, 5S) - 7 - [3 - アミノ - 5 - メチル - ピペリジニル] - 1 - シクロプロピル - 1, 4 - ジヒドロ - 8 - メトキシ - 4 - オキソ - 3 - キノリンカルボン酸のリンゴ酸塩の比が1 : 1である請求項9に記載の薬剤組成物。

【請求項11】

細菌感染症を治療するために使用される請求項8～10のいずれか1項に記載の薬剤組成物。

【請求項12】

前記細菌感染症が、黄色ブドウ球菌(*Staphylococcus aureus*)、緑膿菌(*Pseudomonas aeruginosa*)、肺炎連鎖球菌(*Streptococcus pneumoniae*)、大便連鎖球菌(*Enterococcus faecalis*)、エンテロコッカス・フェシウム菌(*Enterococcus faecium*)、インフルエンザ菌(*Haemophilus influenzae*)、大腸菌(*Escherichia coli*)、または淋菌(*Neisseria gonorrhoeae*)の感染症である請求項11に記載の薬剤組成物。

【請求項13】

前記細菌感染症が、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(*methicillin-resistant Staphylococcus aureus*)、メチシリン耐性表皮ブドウ球菌(*methicillin-resistant Staphylococcus epidermidis*)、キノロン耐性黄色ブドウ球菌(*quinolone-resistant Staphylococcus aureus*)、排出関連メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(*efflux-related methicillin-resistant Staphylococcus aureus*)、ヘテロバンコマイシン低感受性黄色ブドウ球菌(*hetero vancomycin-intermediate Staphylococcus aureus*)、バンコマイシン低感受性黄色ブドウ球菌(*vancomycin-intermediate Staphylococcus aureus*)、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(*vancomycin-resistant Staphylococcus aureus*)、ペニシリン耐性肺炎連鎖球菌(*Penicillin-resistant Streptococcus pneumoniae*)、フルオロキノロン耐性肺炎連鎖球菌(*fluoroquinolone-resistant Streptococcus pneumoniae*)、または多剤耐性肺炎連鎖球菌(*multi-resistant Streptococcus pneumoniae*)の感染症である請求項11に記載の薬剤組成物。